

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		施設運営管理事業（コミュニティセンター）						予算事業名		施設運営管理経費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例（小田林，城南，南部中央）						
			02	01	10	0501	経常経費								
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)							事業の区分	主要事業						
	5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり（市民参加・広														
	③コミュニティの活性化							担当課係等	市民活動支援センター						
	2コミュニティセンターの運営								協働推進係						
事業期間		継続（ 年度～令和 4年度）													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市民（地域）のコミュニティ活動や交流の場とし，相互の親睦と融和を図る。地域社会の生活や文化活動の充実と住民福祉の向上を図る。								市民のコミュニティの場及び相互の親睦や融和の促進を図る目的で事業を実施。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
小田林，城南，南部中央コミュニティセンターの運営管理								市民							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								コミュニティの場として必要性は高まっている。							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】							
施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等）				施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等）				施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等）							

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	643	780			
	一般財源	2,318	1,830			
歳入計（千円）		2,961	2,610			
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	11 需用費	1,609	1,633			
	12 役務費	116	121			
	13 委託料	1,172	792			
	14 使用料及び賃借料	44	44			
	19 負担金補助及び交付金	20	20			
歳出計（千円）（A）		2,961	2,610			
伸び率（％）			-11.85			
備考	総合計画135ページ 予算書45ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	管理委託件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	利用件数	件	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	2,229.00	0.00	0.00
	利用者数	人	目標	30,000.00	30,000.00	30,000.00
			実績	29,419.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域のコミュニティの場として必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市の公共施設であるが、地域の実情に応じた運営を図るため、地域の施設運営委員会に管理を委託している。
	手段の妥当性	A 妥当である	条例及び条例施行規則に準じ、適切に運営されている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	運営管理は施設運営委員会に委託しており、市が直接管理するよりコストは低い。ただし、建設されてから30年を経過する施設もあり、老朽化により維持管理に費用を要する傾向にある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	地域住民をはじめ、市内の団体等が幅広く利用している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	地域コミュニティの拠点施設として、有効に利用されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	地域コミュニティの拠点施設として定着している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各施設とも地域コミュニティの拠点施設として定着しており、地域には必要な施設である。しかし、施設利用後の利用者による管理（清掃・空調・電灯）が徹底されていないケースもあり、利用者には徹底することが求められる。施設の中には老朽化が進んでいるものもあり、設備や備品も含めて修繕を要する傾向にあるため、今後の維持管理に係るコスト面で課題がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
利用者の施設利用に関しては、地域の施設運営委員会と連絡を密にし、的確な管理や地域の実情に沿った運営ができるよう取り組む。施設の老朽化問題については、個別施設計画に基づき維持管理をしていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	